

# 長崎の林業

小曾根星堂書



対馬：厳原町金田緑の少年団 植栽活動

8

## 目次

●林政だより	林業は追い風だ！ 来たれ！ 林業現場へ！	2～3
●特集記事	木の駅プロジェクトの視察	4～5
●林業普及だより	東彼林業研究会 ハラン栽培について	6
●地方だより・対馬	対馬市厳原町金田緑の少年団活動紹介	7
●地方だより・島原	島原の見どころを紹介!! (岩戸神社)	8
●林業団体情報	①林野公共予算の更なる上積みを目指して	
	②技術研修会の開催	9
●センターだより	多目的造林機実演会～山もつとジョージ 登場!!～	10
●紹介コーナー	手作り木工&雑貨SHOP Pui・Pui	11
●森林・山村多面的機能発揮対策事業について		12



2019  
No.767

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。  
「長崎県庁」のホームページ「広報」→「県の発行物」からもご覧いただけます。

林政だより

**林業は追い風だ！ 来たれ！ 林業現場へ！  
(森林づくり担い手対策に関する研修会のご案内)**

**林業は追い風だ！**

長崎県の森林率は59%、そのうち人工林率は42%・・・しかも、それらの森林は伐採時期を迎えている・・・。

皆さん、すでに聞き飽きたフレーズですね。しかし、良く考えてみて下さい！これだけの資源が我々の足元にあるのです。日本の森林率は世界で第3位。しかも、森林は、伐って(使って)、植えるを繰り返すことで持続可能な資源(産業)となっています。

また、ご存知のとおり、今年度から、森林整備を進めるための森林環境譲与税が始まりました。すなわち、国民一丸となった森林づくりがスタートしたのです。



**林業で働く人を増やそう！**

今後、森林整備量が増える見込みに伴い、林業の現場で働く人の数を増やす必要があります。県では、令和7年度に林業専従者数400人を目標に掲げて取組を進めていますが、近年では330～350人程度で推移しています。また、「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき認定を行った事業者(以下、認定林業事業者)」の数は41者となっています。

地元の資源(森林)を活用することで、持続可能な産業(林業)を育成し、地域(長崎県)を活性化していくためには、新たな担い手や事業者の確保が必要です。そして、何よりも林業で働くことの魅力を広く伝えていくことが重要です。

そこで、県では以下の取組を行っています。

**新たな担い手確保に向けた取組**

①高校生等への就業への取組

高校生等の新規就業の促進を目的として、林業の認知度向上のための説明会や就業体験を実施しています。



諫早農業高等学校におけるインターシップ

②一般見学会、おためし林業体験、島での林業ファームステイ

「林業ってどんなことをしているの?」、「一度、林業を体験してみたいな」、「離島での生活を体験しながら林業現場を知りたいな」という方は、ぜひともご参加下さい。



お試し林業体験

**担い手確保に向けた研修一覧**

事業名	内容	開催時期	場所	備考
一般見学会	「間伐」現場での林業機械等の見学	10月28日(月) 12月13日(金)	諫早市	無料
おためし林業体験	実際に働いている人の案内での林業機械操作等の体験	随時受付	県内各地	無料
島での林業ファームステイ	離島での生活を体験しながら林業の現場の見学・体験	随時受付	対馬・吉岐・五島	無料(宿泊費相当を支給)

※受け入れ先までの交通費は参加者負担となります。

## 事業体の新規参入に向けた取組

### ①林業参入研修等

新規参入事業体等の現場技術者に対し、技術や資格取得・安全性向上のための研修（伐木等の安全講習・高性能林業機械の特別教育など）を実施しています。



林業参入研修

### ②新規参入事業体向けの「おためし林業」

林業への参入推進のため、参入を目指す事業体のスキル取得を目的として、認定林業事業体等の指導の下、伐捨間伐等の研修を実施しています。



新規事業体向け「おためし林業」

### 新規参入に向けた研修一覧

事業名	開催時期	場所	備考
① 林業参入研修等 伐木(チェーンソー等)研修 高性能林業機械研修	未定 (9月,10月頃)	未定 (諫早市・佐世保市)	無料
② 新規参入事業体向けの 「おためし林業」	随時	県内各地	無料

## 認定林業事業体のさらなる躍進への取組

### ①林業専門作業員スキルアップ研修

林業事業体の作業班長等、現場の指導者に安全性と生産性向上のための指導スキルアップとマネジメントに関する意識啓蒙を目的とした研修を実施しています。

### ②林業事業体実務事務研修

事業体経営強化のため、事務職員に対しての組織運営のための事業計画の作成等についての研修を実施しています。



実務事務研修

### 認定林業事業体向けの研修一覧

事業名	開催時期	場所	備考
① 林業専門作業員スキルアップ研修	9/3,4 9/19,20	諫早文化会館	無料
② 林業事業体実務事務研修	11/19~20	未定	無料

## その他の取組

研修以外にも、新たに林業に参入する事業体や認定林業事業体で生産拡大および雇用拡大または処遇改善に取り組む事業体へはその取組に要する経費の2分の1（補助金上限250万円）を助成し、バックアップをしています。

## 最後に

ご存知のとおり、林業は森林を守り育てることから立木を伐採するなど危険と隣り合わせの業種です。しかしながら、それ以上に“やりがい”のある仕事でもあります。林業に興味のある方は、まず、研修を受講し、正しい知識を学び、林業への参入をご検討いただければと存じます。

なお、研修に関するお問合せは、以下へお願いします。

### ○県林政課普及指導班

Tel:095 - 895-2990

### ○（一社）長崎県林業協会

Tel:0957 - 25 - 0184

（林政課 普及指導班）



## 【特集記事】

# 木の駅プロジェクトの視察

森の健康診断出前隊 木の駅会議 代表の丹羽健司さんが、全国各地の取り組み状況を聞き取り調査で訪問されており、令和元年6月12日、諫早市の「木の駅たかき」の視察に来られました。（左）丹羽健司さん、（右）木の駅たかき代表の増山忠男さん。

## 木の駅プロジェクトとは

森林整備と地域経済の活性化を目的とした取り組みです。具体的には、元気な森林づくりのために間伐を推進し、間伐材や林地残材などの森林資源を「木の駅」に出荷して木材資源の有効利用を図る一方で、対価として地域通貨を発行し、地元の商店で使ってもらい、地域経済の活性化に繋げることを目指しています。

本県初の取り組みとして、平成28年3月24日に「木の駅たかき実行委員会」が発足し、4年目を迎えました。

## 「木の駅たかき」の調査事項

丹羽さんには、平成24年に長崎ウエスレヤン大学で開催された県民参加の森林づくり活動発表会で、「素人がつくる水源の森と暮らし」（森の健康診断から木の駅プロジェクト）の講演をいただいたご縁がありました。

今回、「木の駅たかき」代表の増山忠男さん、諫早市高来支所の徳永秀正さんが市役所会議室で応対し、丹羽さんから各地の課題についての次の3つの質問を中心に、意見交換を行いました。

①「木の駅たかき」が問題を抱えていないか確認したい。

（全国各地で実施されている木の駅プロジェクトが、代表の高齢のため持続が難しくなっている場合があるため。）

②運営が行政に依存しすぎているか確認したい。

（補助金など市の支援に頼りすぎると自主的な活動が窮屈になっている事例があるため。）

③地域振興券の発行状況を知りたい。

（地域振興券を循環させることで多くの地域の経済効果を期待できるため。）

質疑応答は以下のとおりでした。

①3年間の木材出荷実績

→別表「木の駅たかき」の木材出荷状況のとおりです。

②諫早市から経費の補填に対する補助金を支出していますか。

→支出していません。補助金に依存しないことを前提に活動を始めました。

- ③森林組合と仕事が競合しませんか。  
→競合はしません。森林組合が作業を実施した後の林地残材を軽トラックに積んで、木の駅に出しています。
- ④どのような人たちが、木材を木の駅に運び出しているのですか。  
→諫早市高来町の小江、湯江、宇良および深海地区の森林所有者等です。
- ⑤木材をどこに出荷していますか。  
→チップ用木材の買取業者（長崎山陽）に買取ってもらっています。
- ⑥もり券（地域通貨）を発行する事務的な手間を誰が行っていますか。  
→市職員の支援により、事務局で自主的に行っています。
- ⑦もり券を使える店舗数を教えてください。  
→29店舗です。地元の商工会も、店舗数増加の勧誘に協力してくれます。
- ⑧もり券の評判はどうか。  
→上々です。ご主人が持ち帰るもり券を、奥さんが楽しみにして待っているという話を聞いています。
- ⑨工夫していることはありますか。  
→木の駅の土場を、山の近くに設けました。土場に集めた木材は、後日買取業者に取りに来てもらいます。
- ⑩今まで労働災害が発生したことはありますか。  
→ありません。作業従事者は、傷害保険に年間を通じて加入しています。また、森林組合が実施する労働安全講習を年に1度

は全員で受講しています。さらに2カ月に1回は実行委員会を開催し、事業量の調整や労働安全の意思統一を図っています。

- ⑪作業に従事する年齢層  
→作業従事者の最高年齢は85歳（増山さんご本人）。平均年齢は70歳くらいです。
- ⑫今後の課題  
→作業従事者の高齢化が進むので、作業手順の見直しが必要になります。活動は今でも無理をせずに半日くらいで切り上げるようにしています。

## 取材を終えて

丹羽さんは、このプロジェクトの本来の目的である、楽しんで「森林整備の活性化」に繋げることと、「地域の活性化」にも寄与しており、素晴らしい活動と感銘を受けておられました。増山代表の「自分たちは、この活動を金を目当てに実施しているのではない。山男の心意気で、地域を盛り上げたい。」との力強い言葉が印象的でした。

（NPO 法人地域循環研究所）



和やかな雰囲気での意見交換

年度	活動回数	重量 (t)	材積換算 (m <sup>3</sup> )	もり券発行金額 (円)	発行枚数
H28	3	136.60	170.754	652,000	1,304
H29	8	301.69	377.110	1,570,500	3,141
H30	8	150.75	188.440	791,500	1,583
<b>合計</b>	<b>19</b>	<b>589.04</b>	<b>736.304</b>	<b>3,014,000</b>	<b>6,028</b>

「木の駅たかき」の木材出荷状況

## 林業普及だより

## 東彼林業研究会 ハラン栽培について

## 林間での短期収入を目指して

波佐見町、川棚町、東彼杵町の東彼杵郡では、スギやヒノキの林間でのハラン栽培が盛んです。主にアオハラン、シマハラン、アサヒハランの3種類あり市場価格は1葉あたり27円～40円程度で、生花用、料理装飾用などに利用されます。

東彼林業研究会の設立は、昭和57年3月、虚空蔵山系の波佐見町の林家7名で東彼薬草研究会を結成したのが始まりで、その後、昭和59年11月に東彼林業研究会へと改名しました。現在は、会員数40名となり、林研共同の圃場と会員個人で管理する圃場のそれぞれで栽培管理、出荷作業を行っています。

また、平成29年2月に東京で開催された全国林研グループコンクールでは、県内初の農林水産大臣賞を受賞し、ますます活動が活発になっております。

## 佐賀市婦人林業研究会が視察に

6月24日に佐賀県から「佐賀市婦人林業研究会」が視察に訪れました。当日は、佐賀市婦人林業研究会、富士大和森林組合、佐賀市森林整備課の計29名と東彼林業研究会13名がハラン栽培や林研としての取り組みなど活発な意見交換を行いました。



視察後に記念撮影

## ハラン洗浄機の導入

東彼林業研究会では、平成30年度に波佐見町の補助事業を活用し、ハランの洗浄機を導入しました。ハランを1枚1枚、裏表手洗いする手間や冬場の水洗いでの苦労を軽減するためです。導入にあたり、農業機械を取り扱う会社に依頼して、試作と調整を繰り返し行いました。導入後は、手洗いの倍近く速く洗浄作業が終わり、助かっている一方で、花粉などしつこい汚れは洗浄機だけでは落とせないため、最後に手洗いをしており、まだまだ改良が必要と楠本会長は言います。



導入したハラン洗浄機を使っでの作業

## 生涯現役！

東彼林研の共同圃場には、生涯現役の文字が掲げてあり、最年長は、山口巽さんの90歳で現在も活動を続けています。楠本会長は、「山口さんは会員みんなの目標。がんばっている姿を見ると励みになる」と言われており、私たちも元気に活動するみなさんを見て、いつも元気を貰っています。今後も東彼林業研究会の活動への支援を行っていきます。

(県央振興局 林業課)

## かんだ 対馬市厳原町金田緑の少年団活動紹介



植栽したプランターと集合写真

### はじめに

令和元年6月15日土曜日に、「厳原町金田（かんだ）緑の少年団」の活動を行いました。

金田緑の少年団は、対馬市立金田小学校に在籍している1年生2名、2年生3名、4年生1名、6年生5名の計11名で構成しています。今回の活動では対馬市役所職員のお子さんも参加し、花苗の植栽とジャガイモ掘り体験活動を行いました。

### 花苗の植栽活動

「金田緑の少年団」では、毎年6月頃に花苗を植栽しています。今年は小学校の中庭で、3月に少年団の活動で作成していたプランターに植栽しました。高学年生は手馴れた様子で植え付けており、初めて参加する低学年生は、他の子と協力して植え付けていました。

花を植えたプランターは、地域の方々も見る事ができるように、少年団員が校門の周りにきれいに並べました。



植栽の様子

### ジャガイモ掘り体験活動

ジャガイモ掘り体験活動は農事組合法人「檜椎小原（かしこぼる）」のご協力を得て実施しました。少年団員たちは泥だらけになりながらも、次々と収穫を楽しみました。

収穫したジャガイモはすべて、檜椎小原の方々のご好意により提供され、少年団員たちが皆で持ち帰りました。

なかには兄妹で10kg以上持ち帰っている少年団員もいて、皆に大変好評でした。



ジャガイモ掘り体験活動の様子

### おわりに

今回の活動は地域の方々とふれあう良い機会になったと思います。これからもこのような活動を通じて、緑や地域の方々とのおふれあいを大切にし、心豊かな育成に寄与する活動を行っていきたいと思います。

（対馬振興局林業課）

## 島原の見どころを紹介!! (岩戸神社)



岩戸神社の神殿と空洞

雲仙市瑞穂町の自然豊かな森の中にある「岩戸神社」は、樹齢100年を超えるスギやヒノキがそびえ立ち、古くから「岩戸さん」の愛称で地元の人々に親しまれています。神殿の背後の岸壁には神殿に覆いかぶさるような空洞があり、これは古代の生活跡または隠れキリシタンの隠れ場所ではなかったかとの言い伝えがあります。静寂に満ちた何とも言えない神秘的な神社であるため、現在はスピリチュアルなパワースポットとしても話題となっています。

また、この岩戸神社は水の神が祭られています。周辺の森は「瑞穂岩戸水源の森」として周辺地域の重要な森となっており、岩戸湧水としても多くの人に親しまれています。この水源の森の中ほどには透明度の高い清らかな溪流公園があり、地元の方の憩いの場となっています。また、近くには岩戸湧水の水くみ場が備えられ、そうめん流しや鮎料理を楽しめるお店も隣接しています。是非お越しください。



神楽殿



水源の様子

(島原振興局 林務課)



— 林業団体情報 —

① 林野公共予算の更なる上積みを目指して  
② 技術研修会の開催



令和元年5月29日、牧元林野庁長官（左から3人目）に要望書を手渡す九州治山林道協議会

① 要望活動展開

災害列島と云われるように、近年局地的集中豪雨や地震、噴火災害で森林が崩壊し被害が続出しています。特に九州地区は毎年のように山地災害に見舞われ、安全安心のための治山事業施工や防災に強い森林づくりが求められています。

このため、九州8県の治山林道協会では、「九州治山林道協議会」をつくって、毎年東京都霞が関に赴いて財務省や農林水産省に要望書を提出しています。

要望事項の主な内容は治山林道・森林整備事業への予算枠拡大の要望です。

国土強靱化3ヶ年対策で、林野公共予算は来年の予算枠まではこれまでになく増加する傾向ですが、再来年の予算は厳しいものになると林野庁の幹部は異口同音に述べました。

要望しなければ予算はつかない

必要などころに必要な予算を配分することは当たり前で、そういう意味では予算を確保するための要望活動は必要なことなのです。林野庁次長、森林整備部長、国有林野部長などを次々に歴訪し要望書を手渡して、意見交換を行いました。

その後、各県協会とも予算に大きな影響力を持つ県選出国會議員の方々を訪問し、要望書を手渡して協力をお願いしました。

② 治山林道技術研修会を8月22日開催

長崎県治山林道協会では、森林・林業・治山・林道技術の向上を目指して、協会の会員である県内市町職員、県職員、林業関係職員を対象に毎年夏場に長崎県と共催（一社）長崎林業コンサルタントの協賛を得て、技術研修会を開催しています。

研修会場は、長崎市立山の歴史文化博物館1階ホールです。研修会の講師陣は林野庁と民間から専門家をお呼びしています。勉強になりますのでぜひご参加ください。

令和元年 治山林道技術研修会 日程

時間	技術研修会の内容
11:00 ~	雲仙噴火災害の治山事業
13:00 ~	森林環境譲与税
14:20 ~	ドローンの基礎と利活用
15:50 ~	国民の生活を守る治山事業

研修会へのお問い合わせは下記まで

長崎県治山林道協会  
〒854-0063  
長崎県諫早市貝津町1122-6  
TEL : 0957-25-0177

## 多目的造林機実演会 ～山もつとジョージ 登場!!～

### はじめに

林業用運搬車『やまびこ』等の林業用機械を製造している(株)築水キャニコムが新しく多目的造林機械を開発したということで、林政ニュースにも記事が掲載されました。その多目的造林機械の実演会が6月19日に熊本県上益城郡でありましたので、紹介します。

### 山もつとジョージ?

キャニコムの製品はユニークなネーミングで有名ですが、今回の多目的造林機は「山もつとジョージ」です。



「山もつとジョージ」本体



シェーバーの刃

この製品の一番の特長は伐根の粉碎能力に優れているということです。

当初は、山林の下刈り用に開発した機械ですが、伐根処理が課題となったため、独自に伐根粉碎用のアタッチメントを開発したそうです。そのアタッチメントは正方形の刃がらせん状に配置されており、一辺の刃が磨耗しても角度を変えて次の一辺を使うことができ、1つの刃で計4回使える工夫がなされています。

ただし、この刃に石が当たると、刃が欠けたりする弱点は克服できなかったとメーカーの方も話していました。

今回のデモンストレーションでも伐根の直径が75cm、高さ20cm程度のスギの伐根を2分程度で地際まで削ってしまいました。その機能で残材処理も可能です。

北海道での実証試験の結果は、伐根処理と下刈りを同時に行くと0.36ha/日、その後、下刈りのみを行った場合だと1.34ha/日ということで、人の5～6倍の処理能力でした。

本県の林業の現場は局所地形が複雑で、傾斜もあるため、今後この機械が活用できるかは未知の部分があります。

しかし、これまで、造林作業に利用できる機械はあまりありませんでした。このように新しい機械が開発され、様々な改良工夫を重ねられ、また、他メーカーが新しい機械を開発することで機械が進化していくものと思われます。

今後、本件の再造林を推進するために、このような機械を活用できるように集約化し、省力化できる現場にするために、更なる情報収集に努めます。

(農林技術開発センター)

紹介コーナー 手作り木工&雑貨 SHOP Pui・Pui



手作り木工&雑貨 SHOP Pui・Pui は 2007 年にオープンしたお店です。取扱商品は、木製の棚や椅子、キッチン雑貨やおもちゃ等の手作り木工品を中心に、雑貨（ホーロー・ブリキなど）、手作りの布製品など多くの種類を取り揃えています。

現在、店舗はお休みしていますが、ハンドメイドイベントや、近隣のショッピングモールで月一回程度、「プイプイ月市」として出店しています。お急ぎでなければ、オーダーメイド注文も受け付けておりますので、お気軽にお声掛けください。「プイプイ月市」は佐世保市の大野モールで開催していますので、お出かけの際は買い物ついでに立ち寄って暖かみのある配色の手作り木製品を手にとってみませんか？

手作り木工&雑貨 SHOP

プイ プイ  
Pui・Pui

〒 857-0102

長崎県佐世保市松瀬町 1226-27

電話：090-1161-9858

BLOG：http://ameblo.jp/puipui39/



## 伊万里木材市況

### 【ヒノキ】

令和元年 7月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16~18	直	16,500	多い	普通	普通
	16~18	小曲り	14,800	多い	普通	普通
	20~22	直	16,300	多い	普通	普通
	20~22	小曲り	14,700	多い	普通	普通

### 【スギ】

令和元年 7月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18~22	直	13,700	少ない	多い	多い
	18~22	小曲り	12,000	少ない	多い	多い
	24~26	直	13,500	少ない	多い	多い
	24~26	小曲り	12,000	少ない	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

## 森林ボランティア団体と企業による森林づくり（雲仙市）



整備前



整備後



侵入竹除去 実施状況（神代グリーン振興）

森林・山村多面的機能発揮対策事業は、森林の多面的機能の発揮を図るとともに山村地域のコミュニティを維持・活性化させるため、地域住民等による森林の保管理活動等の取組を支援するものとして平成25年からスタートしました。

活動の対象は3タイプあり、①地域環境保全タイプは里山林・竹林の整備、②森林資源利用タイプは薪や炭等の資源を活用、③森林機能強化タイプは森林整備のための作業道や鳥獣害防止柵の設置を目的にしています。

また、資機材への支援も行っており、活動を実施するために必要な機材及び資材の購入・設置に対して、必要額の2分の1または3分の1を助成しています。

### ●メインメニュー

①地域環境保全タイプ		②森林資源利用タイプ
里山林保全 16万円/1ha	侵入竹除去・竹林整備 38万円/1ha	16万円/1ha



### ●サイドメニュー

メインメニューと合わせて実施

③森林機能強化タイプ	活動の実施に必要な機材及び資材の整備
1千円/1m	刈払機・チェーンソー等 購入費用の1/2
	林内作業車・薪割り機等 購入費用の1/3

対象活動と支援額

申請の条件は、以下の内容となっています。

- (1) 3人以上で団体を結成する
- (2) 対象面積は0.1ha以上であること
- (3) 地目が森林であること  
※農地の場合は非農地証明が必要
- (4) 森林経営計画の対象外であること
- (5) 3年間活動ができること

長崎県内の森林では、多くの団体が活動しています。初年度は42団体、面積151.1haから始まり、昨年度の平成30年度は48団体、面積は206.1haの整備が行われています。

雲仙市国見町で活動する「神代グリーン振興」は平成28年度から竹林及び里山林整備を行っています。この地域は竹林が荒廃したため灌漑用水に支障をきたしていました。荒廃した竹林を整備することで森林の機能を果たすだけでなく、農業を営む地元の人にも大変喜ばれているそうです。

また、作業を通じて地域住民との繋がりが生まれたということもあり、この事業は森林保全や地域の活性化に貢献しています。

令和元年度の事業申請は、常時受け付けております。詳しい内容については、下記にお問い合わせください。

### ○長崎森林・山村対策協議会

TEL：095-895-9119

FAX：095-895-8654

HP：<http://nagasaki.shinrin-sanson.jp/>

（NPO 法人地域循環研究所）

長崎の林業 8月号 第767号

編集・発行 長崎県林政課

住所：長崎県長崎市尾上町3番1号

電話：095-895-2988

ファクシミリ：095-895-2596

メールアドレス：

s07090@pref.nagasaki.lg.jp